



# 『東北圏だより』

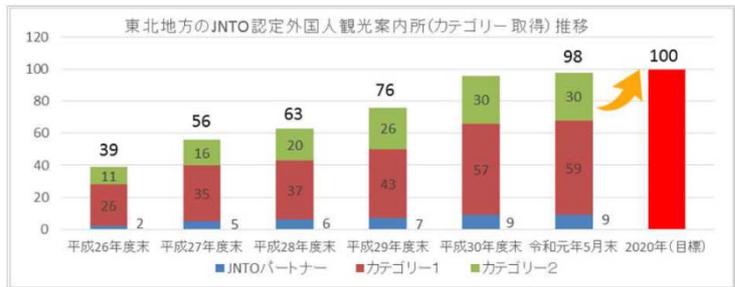
## 東北地方のJNTO 認定観光案内所のネットワーク強化を図る取組

東北運輸局・仙台市

東北運輸局では、平成29年度より、東北各県の観光連盟を始め、観光関係者・団体等からなる「東北地方観光案内所協議会」を立ち上げ、訪日外国人観光客向けに観光案内所の機能・連携強化を図る取組を実施しています。特に、訪日外国人観光客が地域へ来訪した際に「施設等のスタッフとのコミュニケーションが取れない」という受入課題調査結果を踏まえ、当協議会の取組として観光案内所スタッフの多言語のスキルアップや多言語翻訳機を活用した研修を行ってきました。また、訪日外国人観光客が広域に観光周遊する特性から東北地方の観光案内所でも広域的な観光案内ができる機能を強化しています。あわせてJNTO 認定観光案内所の取得を働きかけるなど、訪日外国人観光客が一人歩きできる環境の実現に努めています。



▲観光案内所スタッフの研修

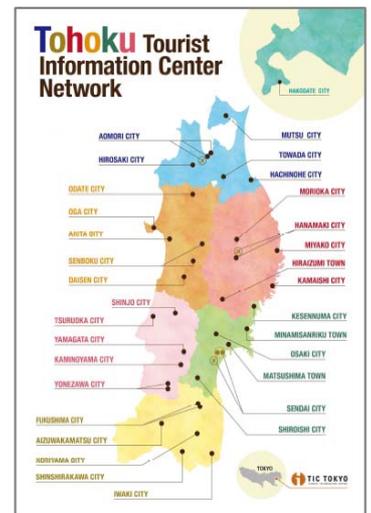


▲JNTO 認定観光案内所の取得推移

また、仙台市も時期を同じくして、東北地方における外国人観光客へのおもてなし向上や東北の域内の周遊観光を促進する目的で、東北観光復興対策交付金を活用し、東北の観光案内所のネットワーク化事業を実施しています。東北の各都市の観光案内所をチャットワークや Skype 等を活用し、訪日外国人観光客に対して東北の広域観光情報を多言語で提供できる仕組みを構築するとともに、合同研修やカテゴリ-3の首都圏観光案内所でのOJT研修等を通して、東北全体の観光案内所職員の更なるスキルアップを図っています。



▲仙台市主催のネットワーク研修



▲ネットワーク加入案内所

今後は、「ネットワーク化による広域情報取得」「コミュニケーション能力向上」「マーケティング機能強化」「地域連携によるリアル情報の提供」など JNTO 認定観光案内所のブランド力向上に向け、関係者と連携のもと地域や訪日外国人観光客が求める姿を探求し、更なる訪日外国人観光客に対するおもてなし環境の向上に努めていきたいと考えております。

## 「インバウンド受入環境整備に向けたキャッシュレスの推進及び

### 消費税税率変更に伴うレジ補助等にかかる説明会」を開催

東北経済産業局・東北運輸局

東北運輸局では、東北経済産業局と連携し、令和元年5月29日（水）に「インバウンド受入環境整備に向けたキャッシュレスの推進及び消費税税率変更に伴うレジ補助等にかかる説明会」を開催しました。近年訪日外国人旅行者（インバウンド）が増加する一方、その多くは日本のクレジット決済環境が整備されていないことに不満を抱いており、インバウンドの受入を推進していくうえでの課題となっています。



▲会場の様子

今回の説明会は東北経済産業局との連携により初めて開催したものであり、宿泊事業者やタクシー事業者、自治体、DMO関係者など約90名の方にご参加いただきました。



▲東北運輸局による説明



▲東北経済産業局による説明



▲キャッシュレス事業者による説明

説明会では東北運輸局担当者よりインバウンドの状況説明を、東北経済産業局担当者よりキャッシュレスやレジ補助、商店街・観光消費創出事業等の説明を行ったほか、キャッシュレス事業者（全7社）より各社の特徴や事業内容等の説明を行いました。

あわせて、キャッシュレス事業者によるキャッシュレス機器の展示も行い、参加者はキャッシュレス事業者からの説明に耳を傾けていました。



▲キャッシュレス機器展示の様子

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：thr-kou-suishin2@mlit.go.jp